

## 香川県の雇用情勢（令和3年7月分）

- 7月の有効求人倍率（季調値） **1.35倍**（前月差 0.02ポイント）
- 正社員の有効求人倍率（原数値） **1.10倍**（前年同月差 0.05ポイント）
- 雇用情勢判断 「求人が求職を上回って推移しているが、求人は弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に十分注意する必要がある」

### 1 求人倍率

- 有効求人倍率(季調値)は、前月より0.02ポイント上昇。120か月連続で1倍台(全国第16位、全国1.15倍)
- 正社員の有効求人倍率(原数値)は、前年同月より0.05ポイント上昇(全国第9位、全国0.88倍)

年 月	R3年2月	3月	4月	5月	6月	7月
有効求人倍率	1.38	1.30	1.35	1.34	1.33	<b>1.35</b>
正社員有効求人倍率	1.05	1.04	1.02	1.07	1.07	<b>1.10</b>

(注) 有効求人倍率(季調値)の季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。

### 2 雇用情勢判断

- 判断を据え置き

変更した月	変更した内容	判断方向
令和3年7月	求人が求職を上回って推移しているが、求人は弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に十分注意する必要がある	据え置き
令和3年4月	求人が求職を上回って推移しているが、求人は弱含んでおり、求職者の増加の兆しもあいまって、新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に十分注意する必要がある	据え置き
令和2年5月	求人が求職を上回って推移しているが、求人が大幅に減少しており、新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に十分注意する必要がある	下方修正
令和2年3月	求人が求職を大幅に上回って推移しているが、新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に十分注意する必要がある	下方修正

### 3 新規求人

- 新規求人(原数値)は、7,440人(前年同月比 3.2%増) 4か月連続で増加  
増加した主な産業は、医療、福祉、サービス業(他に分類されないもの)、学術研究、専門・技術サービス業 等  
減少した主な産業は、公務・その他、建設業、複合サービス事業 等

年 月	R3年2月	3月	4月	5月	6月	7月
前年同月比(%)	▲18.6	▲12.6	16.7	10.1	9.0	<b>3.2</b>

### 4 新規求職

- 新規求職(原数値)は、3,143人(前年同月比 5.5%減) 2か月連続で減少

年 月	R3年2月	3月	4月	5月	6月	7月
前年同月比(%)	▲1.0	7.6	13.8	7.8	▲0.7	<b>▲5.5</b>